

新年の始まり、希望に満ちた年に！



■発行
東谷地区まちづくり協議会
■編集
まちづくり協議会広報部
責任者 蛸川昭代
■所在地
小倉南区木下704-1
東谷市民センター内

令和8年1月15日
(木曜日)

問い合わせ

東谷市民センター
TEL/FAX 093-451-0217
平日・土曜 9:00~17:00
<http://higashitanikoho.sakura.ne.jp/>
Mail to: higashitani.cc@silc.ocn.ne.jp

地域の魅力を再発見しよう



東谷地区まちづくり
協議会 会長
田村 章憲

あけましておめでとうございませう。皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素より、東谷地区まちづくり協議会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年も東谷では「平尾台野焼き」「平尾台観光まつり」「東谷フェス

ティバル」など多彩な催しが行われました。

その中で、平尾台観光まつりは、例年、夏に開催しておりましたが、近年の猛暑を考慮し、十月に時期を変え、東谷フェスティバルと連日で開催しました。

今年の開催については、昨年の反省も踏まえ、様々な人の意見を参考にしながら現在検討しているところであります。

また、三谷地区には様々な伝統文化、食文化等があり、地域の魅力を再発見するため「とうふ汁」が見直

次世代に繋げていく構想



東谷地区協議会
会長
前田 康典

新年おめでとうございませう。午歳の令和八年、力強く駆ける、しつかり目標に向かう、そんな一年を願っています。

昨年末、20年間の市政を担っていた末吉興一氏が逝去されました。ご冥福をお祈り致します。鉄冷の北九州市にあってルネッサンス構想を掲げ産業構造の転換をすすめ、環境モデル都市の育成を推進し

ました。当地でも平尾台自然の郷が開園しました。グラウンドワークトラスト手法で現在の自然に親しむ公園の原型をつくりあげまし

昨年、昭和と年号でいえば、昭和一〇〇年の区切り年でした。戦後復興の中で環境負荷の大きい北九州で市でしたが、今や環境先進都市となりました。市内各所に自然が多く残っており、小倉南区の平尾台、曽根干潟はその代表です。産学官民による都市近郊の自然のかかわりでアーバンネイチャーを基にしたネイチャー・ポジティブ構想があ

されています。「とうふ汁」は各地域や家庭で作る方や味、具材が異なり、それぞれの特徴があります。と

うふ汁を起点とし、他の地域との交流をしながら東谷地区の更なる活性化に努めて参りたいと思っております。

2026年は丙午の年です。丙午は、情熱と行動力のある年です。飛躍や挑戦、希望に満ちた一年となることを願います。

『人間万事塞翁が馬』の精神で前向きに進んでいきましよう。

ります。平尾台の資源を生かす企業、カルスト地形を守る野焼き等東谷地区はこの構想の最前です。誇りをもってかわり、次世代に繋げていく必要があります。

今年も多くのテーマに向きあうこととなります。目の前の事だけでなく、視点を高くもって対応していきたいものです。

1月12日は新年祝賀会が開催されます。二百余名の方に参加されます。夢を語り合いたいものです。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。

小倉南区 健康カラオケ大会

3位入賞!!

12月6日(土)、守恒みらいホールにて小倉南区役所主催の「健康カラオケ大会」が開催され、各校区から歌自慢の代表20組が参加しました。採点方法がカラオケの点数に血管年齢がプラスされるという特別ルール。

東谷地区から内尾正憲氏が参加し、歌を披露。歌の点数も高得点で、更に血管年齢が実年齢よりも9歳若く、その点数が加点され、見事3位に入賞しました。

3位 景品
平尾台
フレグランス

東大野八幡神社 節分祭

2月3日(火) 18時~

安全安心パトロール

- 1月23日(金) 19時00分~
- 2月13日(金) 14時30分~

東谷市民センター 出発!

ちっちゃいたまご

1月27日(火) 10:30~11:30

東谷市民センター和室
★母子健康手帳・バスタオル
問合せ：小倉南区役所保健福祉課 TEL 951-4125

野焼き予備日

2月28日(土)
3月1日(日)
3月7日(土)

平尾台野焼き

2月22日(日)

2月										
11日(水)	9日(月)	7日(土)	6日(金)	5日(木)	4日(水)	3日(火)	2日(月)	1日(日)	31日(土)	29日(木)
市丸カフェ(市丸)	わいわいサロン(紫水)	人権市民講座	クラブ登録説明会	ふれあい昼食会	「小倉織でさげもん作り②」	市民講座	「小倉織でさげもん作り①」	「チヨコ作り&フルーターで遊ぶ」	「谷っ子クラブ」	「小倉織でさげもん作り①」
「ニコニコ会(呼野)」										
「薬剤師による健康講話」										
「稲穂サロン(新二)」										
「わいわいサロン(紫水)」										
「高齡者サロン」										
「野焼き連絡調整会議」										
「わいわいサロン(紫水)」										
「集団検診」										
「空き家課題 ワークショップ」										

1月の絵手紙

松尾 祐子 さん 作

東谷コミュニティカレンダー

絵手紙教室 東谷市民センター和室
1月23日(金) 10時~お気軽にどうぞ

東谷健康づくりコーナー

『健康講話でお会いできるのを楽しみにしています』

ひらかわ薬局薬剤師の平川です。年に一度東谷地区の健康講話を担当させていただいています。この文章を書いている12月半ばはインフルエンザがかなり多くなっている時期です。皆様方はこまめにうがい、手洗い、マスク着用などでかからないように予防しましょう。

さて、今年は「薬局でよく受ける質問について」というタイトルで講話したいと思います。

保険証がなくなり、マイナ保険証や資格確認書に変わっていく時代です。現在の医療提供体制などいろいろなことをお話してきたらと思っています。当日お会いできるのを楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。



健康づくり部会
薬剤師
平川 剛

～薬剤師による健康講話～ 市民講座・健康づくり部会
東谷地区社会福祉協議会共催

「薬局でよく受ける質問について」

12月24日(土) 12:30～ 14:00～ 血圧測定・昼食講話

(東谷市民センター講堂)

講師：薬剤師 平川 剛 氏

「写真でみるひがしたに歳時記」

12/12 安心安全協働パトロール



小倉南区内で安全安心協働パトロールが行われました。東谷地区でも地域の方20名が参加し、二手に分かれ、市丸・新道寺各小学校から中学校まで歩いてパトロールし、子どもたちの下校時の安全を見守りました。



東谷ウェルクラブ

12月13日(土)
木下の高齢者サロン「ディスコン木下」の皆さんと一緒にディスコンを楽しみ、小学生と高齢者の交流を深めました。



正面玄関に門松設置



環境部会の皆様、今年も門松や絵馬を飾っていただきありがとうございます

「東谷まちづくり」への掲載記事を募集！

「こんなことがあったよ」「これ載せて欲しいな～」など、いろいろな情報をお寄せ下さい。東谷市民センターへ原稿や写真をお持ちいただくか下記のアドレスまでメールで送信下さい。尚、全ての記事を掲載できない場合もあります。あらかじめご了承ください。

東谷地区まちづくり協議会 higashitani.cc@silk.ocn.ne.jp

地域サロン紹介

呼野ニコニコ会

私達ニコニコ会は毎月第4木曜日に呼野公民館で10時から開催しております。参加者は呼野町内の高齢者だけではなく、町外の方もいらっしゃいますし、幼児がいつもちょろちょろと居てくれほっこりしています。また、幼稚園や学校がお休みの日は子ども達も参加してくれるだけでなくお手伝いもしてくれ賑やかな日もあります。

健康観察から始まりその時に合わせて体操や身体を使ったゲームを行ったり、季節の作品作りやお祭りの雰囲気味わって貰う為に縁日を開催しています。



運営側のボランティアの中には、看護師や元幼稚園の先生に外国の方も居ますので、健康相談だけでなく、海外の話の聞いたりして刺激も受けている様です。



この先の目標としては、高齢者サロンではなく、コミュニティサロンとして、皆で同じことをするのではなく、ただお喋りをしに来る方やこっちは将棋・あっちでは編み物をしている方などの憩いの場としての会にもしていきたいとも思っています。そして、呼野町内の方だけでなく、東谷地区の方にも是非、参加していただきたいと思っています。

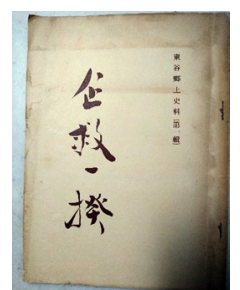


呼野ニコニコ会代表 下澤 徹子

東谷郷土資料館だより 21

東谷郷土資料館委員 西田 順一

今年度、資料館では木下にいらした溝口 連氏作の数々の東谷に残る言い伝えや逸話を紹介してきましたが、今回から数回にわたって氏の最大の著作、「企救一揆」を紹介してまいります。企救一揆は明治2年11月、東谷の原口九右衛門さんを中心にして起こった百姓一揆の物語です。フィクションの部分はありますが、極めて、史実に近い物語です。企救一揆については、江戸時代末期の第二次の長州との戦（丙寅の戦い）に端を発する明治初年期の長州占領下で発生した一揆の話で、その中心にいたのが新道寺村の原口九右衛門さんでした。このお話をご存じの方も多いと思います。当資料館にも紙芝居やDVDビデオがあり何度か紹介しております。企救一揆そのものの歴史の記録史書は当時企救郡が長州藩占領下にあり、また、明治黎明期の混乱の中でわずかな書き物でしか残されておられません。その中で、溝口氏の著作は歴史小説風に書かれたものではありませんが、綿密な史実の調査や聞き取りを経て構成された読み応えのある傑作です。特になぜ原口九右衛門さんらが一揆をおこしたのか、その時代背景を著作の導入部で詳しく、判り易く描いており、読み応えのあるものです。さる12月26日に第一回目の読み合わせを行いました。原本は一昨年、溝口 連氏のお孫さんに当たる方から寄贈いただいたB5版サイズの簡易製本されたもので経年劣化で多少痛んでおりましたので、読み合せ用のテキストとして講座を受講していただいている方の協力を得てPCのワープロで文字起こしをして読みやすくしたものを使用しております。第二回目を令和8年1月23日(金)東谷市民センター2F第一集会室14時～15時までおこないます。ご興味のある方は090-8604-4544西田まで連絡いただくかショートメッセージで連絡ください。



在りし日の溝口 連氏とその著作、企救一揆です。